

主催：庄瀬コミュニティ協議会



上田假奈代氏のディレクションによる「しようぜ芸術大学」



地域全体と連携した取り組みによって、地域全体の活性化をはかる

お茶の間を舞台に、アートを活用し、地域の歴史文化を後世に伝えていくために、地域資源の発掘と創造性豊かな人材を育成することを目的とし、庄瀬の既存の団体・庄瀬特有の既存の文化にスポットをあてる事業。

●家族のコトノハ記録

参加者それぞれが庄瀬の風景を写真撮影、動画作成し協働で連詩をつくった。単に庄瀬の日常を感じ取るだけでなく、映像を通した「コトバ」を見つける作業により、自己の体験に向き合うこととなったり、各々発表することで近しい関係ながらも知らない個人を知ることとなったり、様々な体験をすることができた。

●庄瀬の芸術に親しもう～総踊りの巻

自己表現の場でもある白南中学校有志による総踊りは年々受け継がれている行事。その披露の場が地域行事とリンクすることで地域の一員であるという自覚を促すことはもちろんのこと、それが国際交流を生み出す

手段としても活用されることで、世界における一員としての自覚を促すことにもなると感じた。今後、敬老会への慰問や、地域行事でも披露されながら、地域の次世代の結束力の源として機能していくと思う。

●庄瀬の芸術に親しもう～影絵の巻

堀部安兵衛の影絵を制作するプロセスを踏んでいくことにより、庄瀬地域の文化の掘り起こし、次世代への訴求のきっかけを生み出すことができた。様々な関係者の協力を得ながら、庄瀬地域の特性を活かした地域づくりに貢献(お披露目は来年予定)。実際に作る体験をすることで、若者の興味関心につながった。次世代への継承が高齢化していく団体の課題であるが、このような発表を数多くつくることで、途絶えることなく引き継がれていくことへの希望がもてた。また今後、「安兵衛」を題材にした作品をつくったことにより、観光と絡めた地域活性へも繋げたい。

- 7月15日(日)、16日(月・祝) 家族のコトノハ記録 ●8月12日(日)～10月8日(月・祝) 庄瀬の芸術に親しもう～総踊りの巻 (庄瀬農村公園まつり、茨曽根夏祭り、JAICA交流会、新飯田敬老会、凧フェスティバル)
- 8月7日(火)、8日(水) 庄瀬の芸術に親しもう～影絵の巻～影絵鑑賞会・ワークショップ